WE♡オーストリア

香川友好協会が発足

音楽や文化で交流深めよう

音楽の文化行事などを通じて香川との友好の輪を広げようと、オーストリアを愛する人たちが「オーストリア香川友好協会」（会長＝三宅洋三・木太三宅病院長）を結成した。高松市内で開かれた同協会設立総会には、駐日オーストリア大使も招かれ、集まった会員らは「文化イベントなどを開催し、メンバーが心豊かになれる会を目指したい」と話していた。

志度音楽ホール少年少女合唱団が「美しく青きドナウ」などを披露した設立総会

駐日大使ら招き祝う

二国間の友好団体は全国で十五番目、四国では二番目。高松コンサート協会代表の岡田寛さんや、渡欧経験が二百五十回以上という猪俣伸夫・日本通運高松旅行支店長ら県内の〝親オーストリア派〟が昨年九月に現地を訪れ、ハイドン音楽祭などを鑑賞。オーストリアにますます魅了され「愛する香川と文化友好のきずなをつくろう」と話が盛り上がった。

メンバーは高松市を中心に主婦や会社員、医師、華道家ら個人百九十四人、法人二十六。五月末に同市内で開かれたウィーンフィルハーモニー管弦楽団の首席メンバー三人による「オペラコンサート」を鑑賞、出演者との懇親を深めた。今後、コンサートを中心とする催しや、ウィーンの菓子、飲み物を楽しみながらオペラに詳しい弁護士の木村一三さんによるトークショー、研修旅行などを計画している。

設立総会には関係者ら約百五十人が出席。マーティン・ヴコヴィッチ駐日オーストリア大使が「協会の活動が多くの成果をもたらすことを期待しており、大使館側も支援を約束する」とあいさつ。オーストリア・アイゼンシュタット市と姉妹提携を結んでいる志度町の「志度音楽ホール少年少女合唱団」の約七十人が「美しく青きドナウ」など自慢のハーモニーを披露した。

問い合わせは同協会事務局の三越高松店（☎0878・51・5151）へ。

水量豊

初夏の風物詩・アユ漁が一日、解禁された。西讃地方唯一の漁場、財田川では早朝からこの日を待ちかた地元愛好者らが投網を打った。今年は水量が豊かで近年にない豊漁。アユ漁関係者も「今シーズンは期待が持てそう」と笑顔を見せていた。

同川上流の財田町財田の雉子尾付近では、午前四時前から町内の若手愛好

民主党香川

民主党香川の結成総会が一日、高松市内のホテルで開かれ、正式に旗揚げした。民主党の地方組織としては

鳩山代表